



2016年春季45号

JOCジュニアオリンピック出場選手

選考方法の変更について

徳島県バレーボール協会では、徳島県選抜チームの候補選手を第1回大会より協会の大会である徳島県中学校バレーボール選手権大会の試合を参考に選考し、2回の練習会で選手を選考してきました。しかし、春から夏にかけて成長度がアップしてきた選手もあることを考え、第7回大会より県中体連の大会である徳島県中学校総合体育大会も候補選手を選考する大会とし、その2大会から選考された選手を8月中旬において練習会を設け、徳島県バレーボール協会強化委員会および常務理事会を経て12名の選手を選出してきました。

しかしながら、時代も変化したこともあり、選り優れた選手を発掘する方法がないか考えて参りました。その結果、本年度よりトライアウトによる選考方法に変更することに結論が達しました。詳細につきましては、「徳島県中学校バレーボール選抜チームの選手選考について」をご参照の上、応募していただくようよろしくお願い致します。

戦後最初の県下中学バレーボール大会

(現在の徳島県中学校バレーボール選手権大会) の 記事を見つける

約4年間、過去の戦績を調べていましたが、ついに現在の「徳島県中学校バレーボール選手権大会」の第1回大会である「第1回県下新制中学校バレーボール大会」を発見することができました。昭和22年11月28日付けの徳島新聞において、組み合わせが掲載され、昭和22年12月1日付けの徳島新聞で、結果が掲載されていました。当時、男子はバスケットボール（籠球）で女子はバレーボール（排球）で開催されていたようだ。12月1日付けの内容では、“ベスト8がそろった”と記載されているみたいで次週の新

